

ドストエフスキー作品の主題を 読み解く 芸術・清水正教授

全集10巻を刊行中

清水教授がドストエフスキー作品と出合ってから



芸術学部図書館の自著のコーナーの前に立つ清水教授

「半世紀近く。この間発論全集」(発行・D文学研究会、発売・星雲社)の刊行が進んでいる。2007年3月の第1巻「秋原朔太郎とドストエフスキー体験」で刊行がスタートし、この10月には第8巻「『白痴』の世界」が刊行予定。12年後までに全10巻と別巻1冊を刊行してひとまず第1期としたい。第2期を刊行する構想もあるのですが、グラの校正が大変でしてね。どうしようか考え中です」と清水教授。発行元の「D文学研究会」を自ら主宰する。

「悪霊」「未成年」「カラマゾフの兄弟」などの作品で知られる、ロシア生まれの19世紀の文豪。清水教授は学生にドストエフスキー作品を一言で表すときはこう言っているという。ヘドストエフ

時空を超えたテーマ テロ、紛争の世の中を予見？

「あれ」とは老婆殺害を語ることなれ。その作品群は20世紀の100年をまたいだ21世紀の今も「現代文学」であり続けている。

「あれ」とは老婆殺害を語ることなれ。その作品群は20世紀の100年をまたいだ21世紀の今も「現代文学」であり続けている。具体的例として挙げたのが、高利貸しの老婆殺しを巡って物語が展開する「罪と罰」だ。導入部分に主人公の青年ロジオン・ロマノヴィチ・ラスコリニコフが「いたいおれに『あれ』ができるんだらうか？」と思考する場面。その後の展開から研究者の誰もが



量敷きの文芸ゼミ室で行われているゼミナールの様子

「あれ」とは老婆殺害を語ることなれ。その作品群は20世紀の100年をまたいだ21世紀の今も「現代文学」であり続けている。具体的例として挙げたのが、高利貸しの老婆殺しを巡って物語が展開する「罪と罰」だ。導入部分に主人公の青年ロジオン・ロマノヴィチ・ラスコリニコフが「いたいおれに『あれ』ができるんだらうか？」と思考する場面。その後の展開から研究者の誰もが「あれ」とは老婆殺害を語ることなれ。その作品群は20世紀の100年をまたいだ21世紀の今も「現代文学」であり続けている。具体的例として挙げたのが、高利貸しの老婆殺しを巡って物語が展開する「罪と罰」だ。導入部分に主人公の青年ロジオン・ロマノヴィチ・ラスコリニコフが「いたいおれに『あれ』ができるんだらうか？」と思考する場面。その後の展開から研究者の誰もが

交通システムを数理的な手法で 分析 理工・福田敦教授

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価するのが主な仕事である。

研究の一つは「地球温暖化対策」である。現在、日本は離脱している「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

「京都議定書」には排出権を取り引きする制度が決められており、削減の義務を負っていない。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価するのが主な仕事である。



タイ・コンケン市で、学生とタクシーを使ったプローブ調査の様子

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価するのが主な仕事である。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価するのが主な仕事である。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価するのが主な仕事である。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価のが主な仕事である。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価のが主な仕事である。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価のが主な仕事である。

専門の交通システム分析は例えば、鉄道の新設で現れる交通状況やCO2排出量の変化などを数理的な手法を使って推計し、評価のが主な仕事である。

交通関連問題を解決 総合科学として社会に貢献 異分野の専門家と協力し合い

交通分野は大気汚染やエンジン、バイオ燃料など異分野の人々が幅広く関わることから「総合科学」であり、全体のコーディネートとして役割を果している。

交通分野は大気汚染やエンジン、バイオ燃料など異分野の人々が幅広く関わることから「総合科学」であり、全体のコーディネートとして役割を果している。

交通分野は大気汚染やエンジン、バイオ燃料など異分野の人々が幅広く関わることから「総合科学」であり、全体のコーディネートとして役割を果している。

交通分野は大気汚染やエンジン、バイオ燃料など異分野の人々が幅広く関わることから「総合科学」であり、全体のコーディネートとして役割を果している。

交通分野は大気汚染やエンジン、バイオ燃料など異分野の人々が幅広く関わることから「総合科学」であり、全体のコーディネートとして役割を果している。

福田 敦(ふくだ・あつし) 昭和57年日本大学理工学部交通工学卒業、同63年同大学任講師、助教を経て平成17年から教授。交

プロフィール
通工学研究会・土木学会・アジア交通学会

ウィーン工科大学グンターエンバーガー教授とスカイプを使って共同研究の打ち合わせ

交通分野は大気汚染やエンジン、バイオ燃料など異分野の人々が幅広く関わることから「総合科学」であり、全体のコーディネートとして役割を果している。